

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	応用英語2	
科目基礎情報							
科目番号	4E02		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	配布プリント、ネットアカデミー、多読図書						
担当教員	横溝 彰彦						
到達目標							
1. 英語の段落構成や文章構造に従って、自分の意見を英語で書くことができる。 2. プレゼンテーションの構成方法に従って、自分の意見を英語で発表することができる。 3. 英作文や発表に必要な語彙力を増やす。 4. 英語の多読により、英語の長文を読むことへの抵抗感を減らす。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
自由英作文	英語の段落構成や文章構造に従って、自分の意見を英語で書くことができる。		英語の段落構成に従って、自分の意見を英語で書くことができる。		英語の段落構成や文章構造を理解できない。		
発表	英語で説得的プレゼンテーションを行うことができる。		英語で知識を提供するプレゼンテーションを行うことができる。		英語によるプレゼンテーションを行うことができない。		
語彙	ネットアカデミーPowerWordsの指定された範囲の語彙を書くことができる。		ネットアカデミーPowerWordsの指定された範囲の語彙の意味を理解できる。		ネットアカデミーPowerWordsの指定された範囲の課題を終わらせることができない。		
多読	英語の長文を読むのを楽しむことができる。		英語長文を読むことへの抵抗感が小さい。		英語長文を読みたくない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語プレゼンテーションについて学び、自分の意見を英語で書いたり、発表したり、議論したりする練習を行う。英語の多読図書を読む。						
授業の進め方・方法	与えられたテーマに関する情報や自分の意見を予習で英作文しておき、授業中にその内容を英語で発表し、その振り返りをレポートに記す。 英語の多読図書を各自で選んで読む。 授業外でネットアカデミーのPowerWordsに取り組む。						
注意点	(1) 点数配分：定期試験40%、スピーチレポート40%、ネットアカデミー10%、多読レポート10% (2) 評価基準：60点以上を合格とする (3) 再試：再試験は実施しない。課題を与えることがある。 (4) 事前学習：与えられたテーマで英語スピーチの原稿を作成し、発音を調べて暗記し、発表する練習をしておくこと。 (5) 学修単位：本科目は学修単位であるため授業時間以外での学修が必要である。授業の予習復習、スピーチ発表の準備や発表後の振り返りレポートの作成、ネットアカデミーによる、事前事後の自学を課す。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション、多読 英文の段落構造と文章構造		予習や授業の進め方について理解する。 英文の段落構造と文章構造を理解する。		
		2週	スピーチ1：時系列、多読		時系列に沿って英語で自己紹介文を書いたり、発表したりできる。		
		3週	スピーチ2：場所、多読		行ってみたい場所について英文を書いたり、発表したりできる。		
		4週	スピーチ3：描写、多読		自分と関わりのある物について英文を書いたり、物を見せながら発表したりできる。		
		5週	スピーチ4：列挙、多読		住んでいる所の良さを列挙する英文を書いたり、発表したりできる。		
		6週	スピーチ5：手順、多読		好きな食べ物のレシピについて英文を書いたり、発表したりできる。		
		7週	まとめ		これまでの学習内容を復習し、知識を定着させる。		
		8週	中間試験		これまでの学習内容の理解度を測る。		
	4thQ	9週	スピーチ6：比較・対照、多読		2つ以上のものについて比較する英文を書いたり、発表したりできる。		
		10週	スピーチ7：因果関係、多読		原因とその結果について英文を書いたり、発表したりできる。		
		11週	スピーチ8：問題解決、多読		問題とその解決方法について英文を書いたり、発表したりできる。		
		12週	スピーチ9：反論、多読		与えられた主張に対する反論を英語で書いたり、発表したりできる。		
		13週	スピーチ10：賛否両論、多読		賛否両論のあるテーマについて自分の意見を英語で書いたり、発表したりできる。		
		14週	まとめ		これまでの学習内容を復習し、知識を定着させる。		
		15週	成績確認		これまでの学習内容の理解度を把握する。		
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13

				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後11,後12,後13

評価割合							
	試験	スピーチ	ネットアカデミー	多読			合計
総合評価割合	40	40	10	10	0	0	100
基礎的能力	40	40	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0